



学校だより 6月号

令和8年6月1日(月)
内灘町立大根布小学校

校訓

心美しく たくましく

おおねぶ

結果と過程

校長 堀井 洋一

さわやかな初夏を迎え、校庭の木々の緑も深くなりました。

本校では5月11日に1～4年生が春の遠足を行いました。友達と遊んだりお弁当を食べたりと楽しい時間を過ごすことができたようです。そして、28・29日には、6年生が「のと青少年交流の家」で宿泊体験学習を行いました。それぞれの学年で思い出に残る行事や学習が行われています。

また、先日20日には校内マラソン大会がありました。蒸し暑い日でしたが、子どもたちは自己ベスト記録更新をねらって走り切りました。よい結果が出なくて悔しい思いをした子もいたかと思いますが、これまでの努力を讃えたいと思います。

さて、4年生は器械運動交歓会の練習に取り組んでいます。練習を始めたころには跳び箱グループの数人の児童が跳び箱4段を跳ぶことができていませんでした。「ふみきり」はよいのですが「手のつき方」と「体の運び」がうまくできず、あと少しの状態から前に進めずにいたのです。でも、どの子もあきらめずに髪の毛がびっしょり濡れるほど汗をかきながら顔を真っ赤にして練習を続けていました。そのうち一人の子が見事に4段を跳ぶことができました。その瞬間、その子も周りの子もととてもいい笑顔でした。拍手をする子もいて、とてもいいすてきな瞬間でした。さらには、その後5分も経たないうちに今度は5段を跳ぶことができたのです。他の日には、別の子が同じように4段、5段を一気にクリアすることができました。きっと、前の日に跳べた子を見て「あきらめずに続けているとできるようになる」と感じたのだと思います。

そして、5年生は音楽会練習の真っ最中です。音楽会では合奏と合唱を発表します。合奏では自分のパートを演奏するだけではなく他のパートとの調和が必要になります。音楽会の練習を通して自分の力だけではなく、みんなと心を合わせて一つの作品を作り上げる経験をしています。うまく音が出ない。音や声が合わない。といったことを克服するために練習を続けることで協力や協調の意識が育まれています。

練習の成果を出せる子もいれば力を出し切れない子もいます。大切なことは練習の過程でどれだけ努力を重ねることができたか、努力から得たことを自分の力にすることができるかです。学校では、結果だけではなく過程を大切に子どもたちの努力を支えていきたいと考えています。

保護者の皆様には、これからも子どもたちの成長を温かく見守り励ましていただきますようよろしくお願いします。

6月の教育相談

※申込先(町教育センター) TEL076-286-5481

5日(金) 19日(金) 13:30～ 14:30～ 15:30～

公認心理師・臨床心理士 橋本 玲子先生

11日(木) 25日(木) 13:30～ 14:30～ 15:30～

公認心理師・臨床心理士 高村 梓先生

※申込先(大根布小学校) TEL076-286-3111

3日(水) 17日(水) 24日(水) 9:30～12:30

スクールカウンセラー 日数谷 美奈 先生